

**取扱説明書**

# Dive Computer Gauge

スクーバダイビング用ダイブコンピューターゲージ

このたびは、エス・エー・エス スクーバダイビング用コンピューターゲージを  
お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

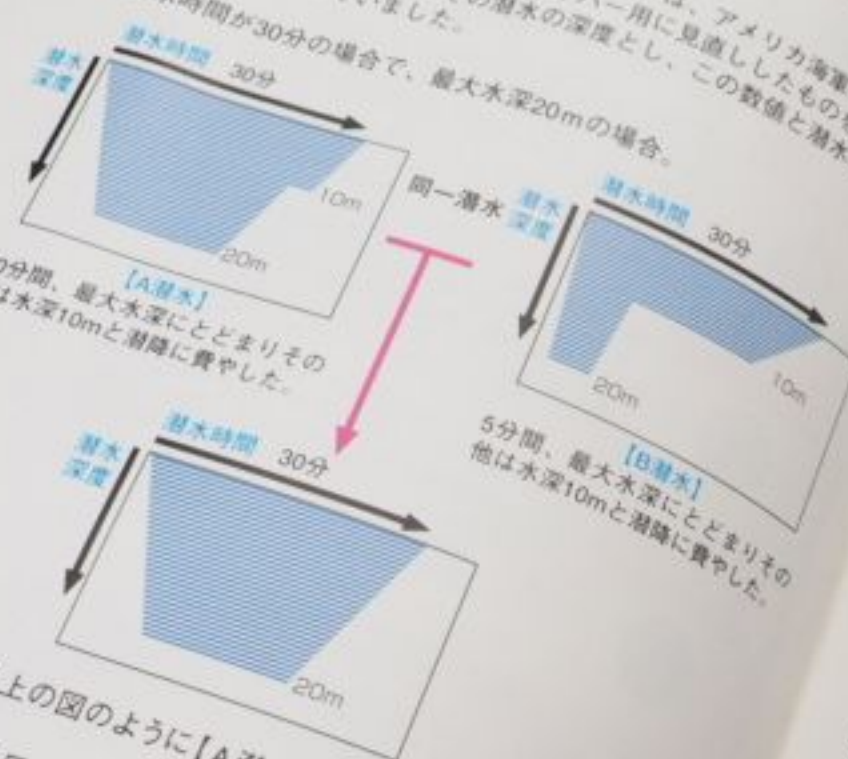
- この説明書と保証登録カードをよく  
お読みのうえ、正しくお使いく  
ださい。そのあと大切に保存し、  
必要なときお読みください。
- 保証登録カードは必ず「お買い上  
げ日・販売店名」などの記入を確  
かめて、販売店からお受け取りく  
ださい。

**保証登録カード別添付**

## ⑥ マルチレベルについて

### A. マルチレベルの特徴

従来のダイビングで使用されていたダイブテーブルは、アメリカ海軍が軍用及び作業潜水用に開発したものを、レジャーダイバー用に見直したものを使用していました。この方式は最大水深をその潜水の深度とし、この数値と潜水時間をもとに無減圧時間を算出していました。



そこで総潜水時間が30分の場合で、最大水深20mの場合。

20分間、最大水深にとどまりその後は水深10mと潜降に費やした。

5分間、最大水深にとどまりその後は水深10mと潜降に費やした。

20分間、最大水深にとどまりその後は水深10mと潜降に費やした。

従来のダイブテーブルでは上の図のように【A潜水】も【B潜水】も同一の潜水とみなしていました。しかし、レジャーダイビングは同じ深度に止まり続ける事はあまりなく、むしろ色々な深度を変えながら移動する事が一般的です。マルチダイビング方式は、色々な深度を変化させて移動する、ダイバーの状況変化をリアルタイムで計測し、体内の窒素量が無減圧潜水範囲であるかどうか、また無減圧潜水時間が現在の水深でどのくらい残っているか等の情報を、ダイバーに与えれば、安全で効率の良いダイビングができると考えられています。

※本機は、アメリカ海軍の潜水計画を立ててから潜水を開始してください。

ダイブファンはスイスモデルの理論と研究に基づいて、C.R.ボラー氏(アンダーウオーター・アプリケーションズ・コーポレーション)によって開発されたマルチレベル演算式を採用しています。これによって実質的な潜水における深度、潜水時間、無減圧潜水情報等の詳細をリアルタイムでダイバーに伝えます。

### B. マルチレベルに関する注意事項

ダイブファンの表示情報は安全潜水の原点に基づいた、マルチレベル基礎データから算出していますが、本機を使用するダイバーは不特定多数であり、また個人レベルでも使用時に体調の良し悪しがあり、時として本機の表示情報が適切でない事もあります。本機はレジャーダイバー用に開発されていますので、多くのダイバーは指示された数値を守れば安全にダイビングをすることができますが、全ての使用者が全ての時、絶対に安全であるとは限りません。

### C. CAUTIONゾーン(赤色の所)

本機はバググラフがゾーンに入る事で、減圧潜水の危険性をダイバーに警告します。バググラフがゾーンに入る前に、速やかに浮上を始めてください。



CAUTIONゾーン

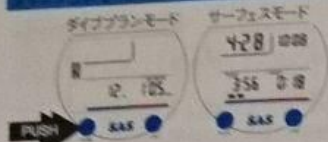
## 警告



余裕をもった潜水計画を立ててから潜水を開始してください。減圧停止を必要とするダイビングや、無減圧潜水の境界近くでの繰り返し行うダイビングは避けてください。複数日連続するダイビングを行う場合は無減圧潜水時間を十分に残して浮上してください。本機は空気専用のマルチレベルコンピューターゲージです。その他のガスでの潜水には使用しないでください。

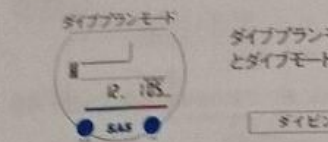


## ダイブプランモードとサーフェスモード



どの水深ランクからでもPLANスイッチを3秒以上、押し続けるとウォッチ及びサーフェスモードに移行します。

操作移行



ダイブプランモードで水中に入るとダイブモードに自動移行します。

自動移行

ダイビング開始



- ①現在の高度ランクでの、各水深ランクにおける、新たな潜水及び反復潜水に応じた無減圧潜水可能時間を知る事ができます。
- ②潜水予定の水深と同等の水深ランクを呼び出し、無減圧潜水可能時間を知る事ができます。
- ③水深ランクは以下の14通りです。  
[9m/12m/15m/18m/21m/24m/27m/30m/33m/36m/39m/42m/45m/48m]
- ④無減圧潜水可能時間の表示はいかなる場合も最大200分です。  
(ただし、実際の時間は200分以上のこともあります)

## 警告



ダイビング終了後、あるいは高度ランクの変化により体内残留窒素量のバーグラフで表示されると反復潜水となり、ダイブプランモードで表示される無減圧潜水可能時間は短くなります。  
安全潜水を十分考慮し、表示された無減圧潜水可能時間よりさらに短い潜水時間で潜水計画を立てる事を強くお勧めいたします。

## 4) ログモード

ウォッチモード及びサーフェスモードにて、LOGスイッチを押すことでログモードに移行します。さらに繰り返し押し出す事により、最新のログデータから順次過去のデータへ呼び出します。  
1回のログデータ表示には2つの画面があり、PLANスイッチを押すことにより次の画面に移行します。

操作移行



ログモード (1)



ログモード (1)



ログモード (2)



ログモードクリア



【注意】1 回消したデータの復活はできませんので、誤操作が無いように注意して下さい。

1 回前のダイビングデータ又はウォッチ及びサーフェスモードに戻る。